

機電職員の現状と今後のあり方

◆ 現状

1) <u>何でも屋</u> になっている	下請けの職長的役割
2) サポート的である	土木屋の敷いたレールに乗っているだけ
3) 存在自体が <u>危うい</u>	存在が重視されていない - 人員減少

三井建設㈱	升 形 剛
㈱ 間 組	本 山 康 貴
㈱ 白 石	野 田 幸 裕
鉄建建設㈱	加 取 新
日本鋪道㈱	上 田 和 弘

◆ 問題

1)-1	メンテナンスが主な業務である
2)-1	機電技術のみでは現場に通用しない
-2	本設に直接関与できない
-3	土木・建築がメインである
3)-1	技量と経験が不足・低下している
-2	外注業者の能力が高まっている
-3	採用計画が悪い

◆ 対応

i)	土木・建築屋と技術的に対等に渡り合える知識・経験を修得
ii)	計画・技術開発に重点を置き、施工技術向上を図る
iii)	機電技術の水平展開・伝承
iv)	機電職のアピールと積極的な採用活動

今後の機電社員のあり方

①	職種に捕らわれない汎用性
②	機械と共に施工技術を一緒に提供
③	機械・電気メーカーと土木・建築の間の橋渡しの存在
④	建設業におけるSE
⑤	機械依存度の高い生産システムの考案(自動化・省力化)

